

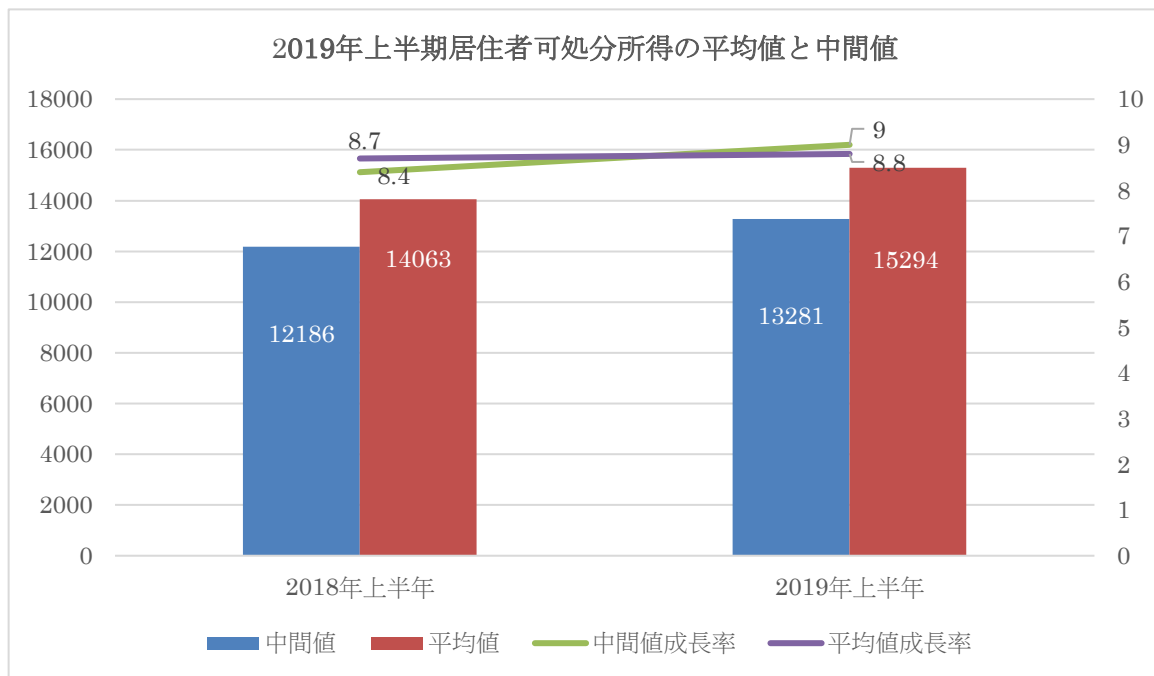
2019 年上半期中国居住者の収入及び支出状況

収入状況

2019 年上半期、中国居住者の平均可処分所得ⁱは 15,294 円で、前年同期比の名目成長率は 8.8%となった。うち、都市居住者の可処分所得は 21,342 円で、8.0%増。農村居住者の可処分所得は 7,778 円で、8.9%増となった。

上半期、中国居住者の平均可処分所得の中間値ⁱⁱは 13,281 円で、前年比 9.0%の増加を記録した。中間値は平均値の 86.8%であった。うち、都市居住者の平均可処分所得の中間値は 19,536 円で、8.2%増加。中間値は平均値の 91.5%であった。農村居住者の平均可処分所得の中間値は 6,601 円で、9.2%増加。中間値は平均値の 84.9%であった。

収入源を見ると、19 年上半期における中国居住者の平均賃金収入は 8,793 円で前年比 8.7%増加し、可処分所得の 57.5%を占めた。平均経営純収入は 2,467 円で、8.9%増。可処分所得の 16.1%を占めた。平均財産純収入は 1,321 円で、13.2%増加。可処分所得の 8.6%を占めた。平均移転純収入は 2,715 円で、6.8%増加。可処分所得の 17.7%を占めた。

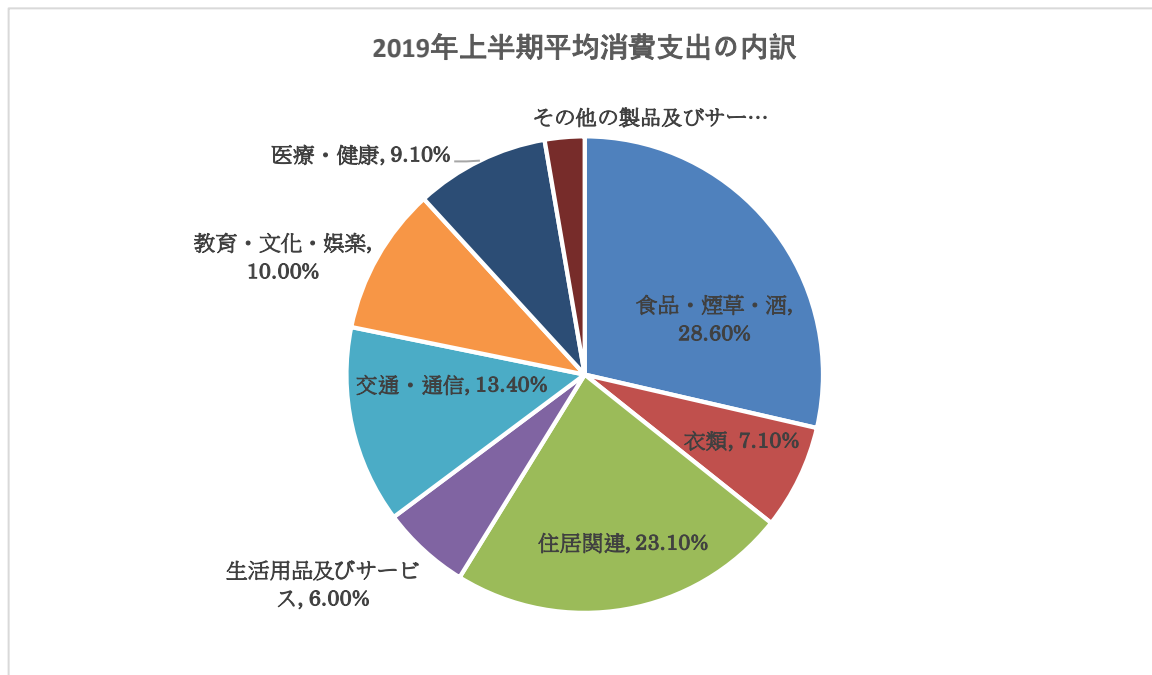


消費支出状況

中国居住者の平均消費支出は 10,330 円で、前年同期比の名目成長率は 7.5%であった。うち、都市居住者の平均消費支出は 13,565 円で、6.4%増となった。農村居住者の平均消費支出は 6,310 円で、8.7%増を

記録した。

食品・煙草・酒類の平均消費支出は 2,950 円で、4.8%増加した。平均消費支出に占める割合は 28.6% となった。衣類の平均消費支出は 731 円で、3.0%増加。平均消費支出の 7.1%を占めた。住居関連の平均消費支出は 2,389 円で 10.8%増。平均消費支出の 23.1%を占めた。生活用品及びサービス消費支出は 621 円で 3.8%増。平均消費支出に占める割合は 6.0%となった。交通・通信の平均消費支出は 1,387 円で 7.8%増。平均消費支出の 13.4%を占めた。教育・文化・娯楽関連の平均消費支出は 1,033 円で 10.9%増。消費支出の 10.0%を占めた。医療・健康関連の平均消費支出は 941 円で 9.5%増。平均消費支出の 9.1%を占めた。その他の製品及びサービス消費は 278 円で 9.8%増。平均消費支出の 2.7%を占めた。



Copyright (C) CAST Consulting Co., Ltd. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

本資料に関する著作権は弊社又は弊社に所属する作成者に属するものであり、本資料の無断引用、無断変更、転写又は複写は固くお断りいたします。

- i 居住者の可処分所得とは居住者が最終的に支出・貯蓄可能な金額の総和。
- ii 1人当りの平均収入の中間値とは、全ての世帯の平均収入を金額の順に並べ、その中間に位置した世帯の平均収入を指す。